



平成18年12月20日

柏崎市長 会田 洋 様

柏崎市ガス事業検討委員会

委員長 梅 澤 精

答 申 書

平成18年5月25日付け財第55号で諮問された「柏崎市ガス事業の望ましい経営の在り方」について、下記のとおり答申します。

記

結論 柏崎市の公営ガス事業は「民営化すること」が望ましい。

各界各層からの委員によって構成された柏崎市ガス事業検討委員会は、本市ガス事業の市民益につながる望ましい在り方をめぐって、年度当初より9回にわたり検討を重ねてきた。その結果、当委員会は、現在の本市ガス事業の順調な経営と良質な市民サービスを高く評価しつつも、以下の主要な理由により民営化が望ましいという結論に達した。

すなわち第一に、当委員会は本市ガス事業が多額の投資を要する配管施設等のインフラ整備をほぼ完了し、多くの市民にガスを安全かつ安定的に供給する体制を整えたことを確認したが、このことは実は本市ガス事業が公営企業としての本来的な役割を既に果たし終えていることの証左でもある。もはや、公営企業でありつづける必要はないのである。

第二に、当委員会はガス事業を取り巻くエネルギー事業の環境が、ガス業界内での自由化によってと同時に電気事業との競合化によって、厳しい市場化の様相を見せ始めているという現状認識を得たが、この認識から言えるのは、今後の苛烈な競争環境に公営企業が迅速かつ柔軟に適應することは難しいということである。将来とも公営企業であり続けることは困難なのである。

以上二つの理由から、当委員会は近い将来における本市ガス事業の民営化が望ましいという答申をするものである。